

第五次羽村市長期総合計画に定める市の将来像

「ひとが輝きみんなであつくる
安心と活力のまちはむら」を目指して

平成28年度は「第五次羽村市長期総合計画」の前期5か年計画の最終年度であり、計画の仕上げを行う年であるとともに、市の将来像の実現に向けた取組みを後期基本計画へつなげていく「結節点」ともなる極めて重要な年です。

このため、長期総合計画実施計画事業、「市民生活の安全と安心」「都市基盤整備」「産業の活性化」「市民活動の活性化」「生涯学習の推進」「地球温暖化対策」の6つの重要施策および「羽村市長期人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生計画」に掲げた地方創生を深化・推進するための施策について、積極的に予算化を図りました。

一般会計の予算規模は、子育て支援策の充実を図るとともに、産業振興や安全・安心なまちづくり、公共施設の老朽化対策などを着実に進めること、また、羽村駅西口土地区画整理事業をはじめとした都市基盤整備を推進していくことなどにより、過去最大の予算規模となる219億2000万円（前年度比3000万円（0.1%）増）となります。

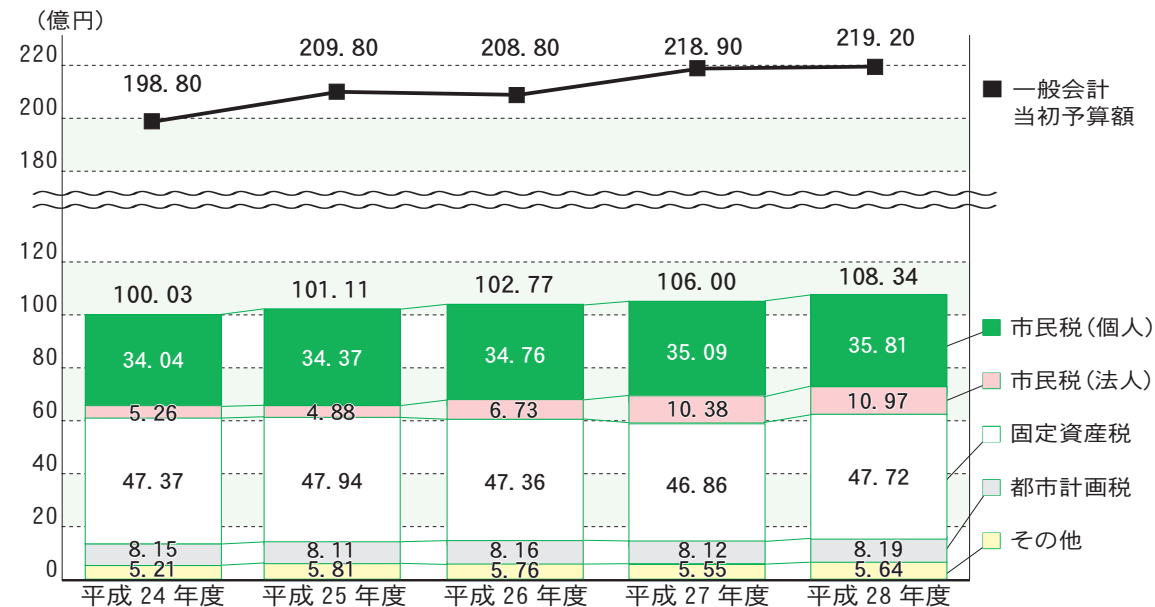
◆ 平成 28 年度予算～各会計の内訳と前年度との比較～

（単位：千円）

区 分	平成 28 年度 (当初)	平成 27 年度 (当初)	増減額	増減率	
一 般 会 計	21,920,000	21,890,000	30,000	0.1%	
特 別 会 計	国民健康保険事業	7,266,500	7,315,000	▲48,500	▲0.7%
	後期高齢者医療	1,019,600	972,500	47,100	4.8%
	介護保険事業	3,233,500	2,959,900	273,600	9.2%
	羽村駅西口 土地区画整理事業	1,401,800	337,300	1,064,500	315.6%
	下水道事業	1,243,800	1,277,200	▲33,400	▲2.6%
	特別会計合計	14,165,200	12,861,900	1,303,300	10.1%
水道事業会計	1,482,407	1,557,251	▲74,844	▲4.8%	
合 計	37,567,607	36,309,151	1,258,456	3.5%	

※水道事業会計は、「収益的支出」と「資本的支出」を合計し、予算額としています。

◆ 一般会計当初予算額と市税収入の推移



※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

一般会計

219億2000万円（前年度比0.1%増）

◆ 財源補完の状況

年度間の財源調整、歳出の財源補完として、計画的な視点に立ち、財政調整基金からの繰入金や市債の活用を図ります。

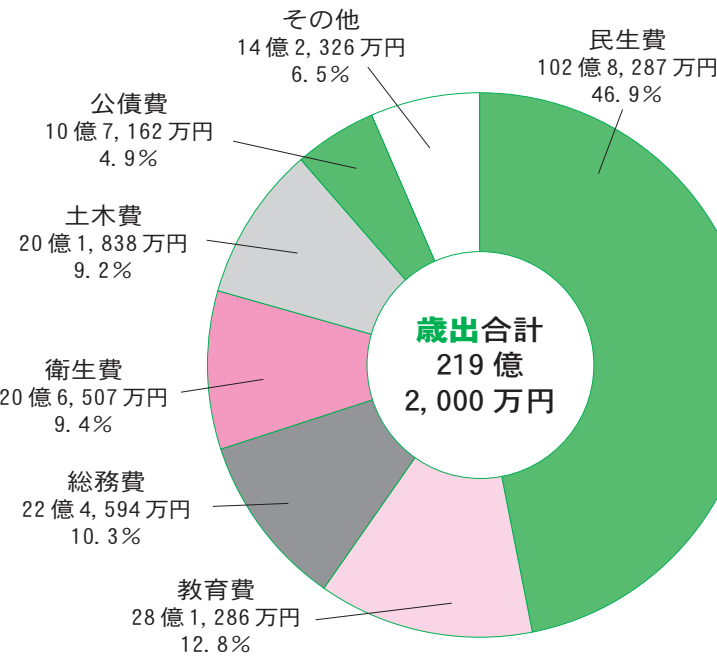
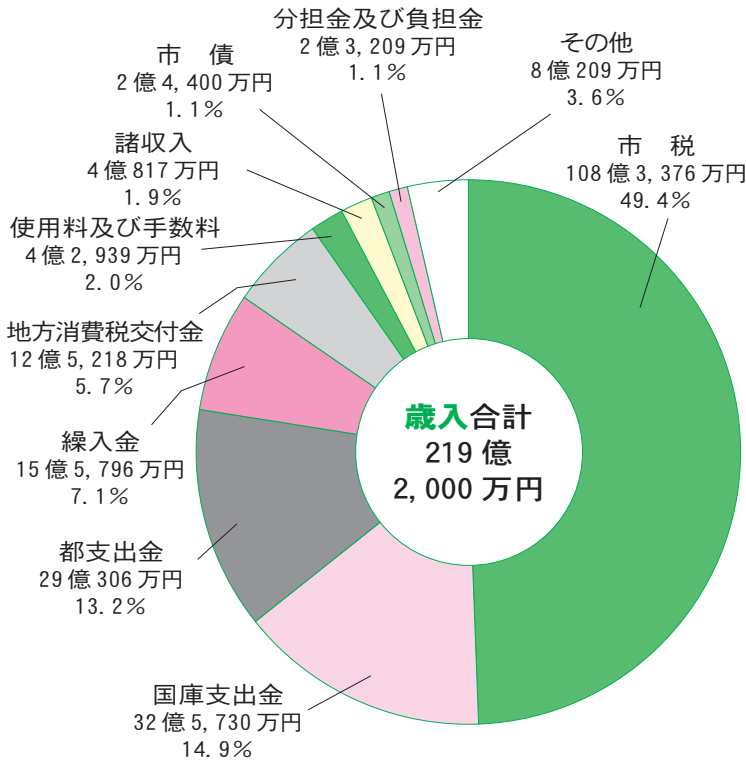
（単位：千円）

	平成 28 年度 (当初)	平成 27 年度 (当初)	増減額	増減率
財政調整基金 (繰入額)	1,031,836	954,553	77,283	8.1%
市債 (借入額)	244,000	295,000	▲51,000	▲17.3%

歳入の内訳

歳入の根幹となる市税収入は108億3,376万円、37.6%増で、前年度と比較し2.2%の増で、4年連続の増加となりました。

市民税の個人分は、引き続き給与所得が増加傾向にあることから、前年度と比較し2.0%増の35億808.4万円を計上し、法人分は、税制改正による法人税割の一部国教化や法人税実効税率の引き下げに伴う影響があるものの、製造業などの大手企業では業績が堅調に推移すると見込まれることから、前年度と比較し5.7%増の10億974.6万円を計上しました。



歳出の内訳

固定資産税は、家屋分の新増築による増、償却資産分の新規設備投資による増などを見込み、前年度と比較し1.8%増の47億717.3万円を計上しました。

市税の増収などにより、国から交付される普通交付税については、引き続き不交付になるものと見込んでいます。そのほか、国・都補助金などの財源の確保を積極的に図るとともに、将来にわたり健全な財政運営を堅持できるよう計画的な視点に立ち、財政調整基金や市債などを有効に活用しました。

民生費では、私立保育園保育委託料、病児・病後児保育事業委託料、臨時福祉給付金等の支給に要する経費などを計上しました。

教育費では、小作台小学校大規模改造工事費、羽村西小学校防音機能復旧（機器取替）工事費、スィミングセンター空調等改修工事費などを計上しました。総務費では、オリンピック・パラリンピックの気運醸成等に要する経費、はむらの魅力発信・知名

度向上に要する経費、参議院議員選挙や市長選挙に要する経費などを計上しました。

衛生費では、創省エネルギー化助成金、保健センター空調設備改修工事費などを計上しました。土木費では、羽村駅西口土地区画整理事業会計繰出金、羽村駅自由通路店舗移転負担金、動物公園改修工事設計業務委託料などを計上しました。

行財政改革への取組み

「第五次長期総合計画」に掲げた事業を積極的に推進するとともに、市が直面する喫緊の課題に取り組み、支える強固な財政基盤を構築する必要があることから、平成28年度予算において、経常的経費の縮減などに努めました。

また、予算の執行にあたっては、さらなる歳入の確保や経常的経費の抑制を図っていきます。